

# 新ビームライン BL-6A の建設について

## A construction plan of a new beamline BL-6A

森丈晴<sup>1</sup>、五十嵐教之<sup>1</sup>、大田浩正<sup>2</sup>、伊藤健二<sup>1</sup>

1 KEK-放射光、2 三菱電機システムサービス

放射光科学研究施設に新しく建設されるビームライン BL-6A は、BL-15A で展開されている Activity を実施することを目的とした実験ステーションである。

偏向電磁石 BM6 から出力される放射光を光源としており、BL-15 と同様に、湾曲型平板集光ミラーで縦方向の集光と分光器からの高次光の除去を行った後、Johann 型結晶分光器によりX線の単色化と横方向の集光を行う集光光学系を採用している。

BL-15A で実施されてきた Activity の移行ができるだけスムーズにできるように、新 BL-6A の実験ハッチは、BL-15A と同等の空間を確保し、BL-15A の小角散乱実験用カメラを移設することを計画している。

現在、実験ハッチ及び 2 階デッキの建設が進んでおり、今年度中に電気設備までの整備が完了する予定である。今夏シャットダウン中にビームラインを完成させることを目標に計画が進められている。

今回は、新ビームライン BL-6A の概要と建設の状況について報告する。

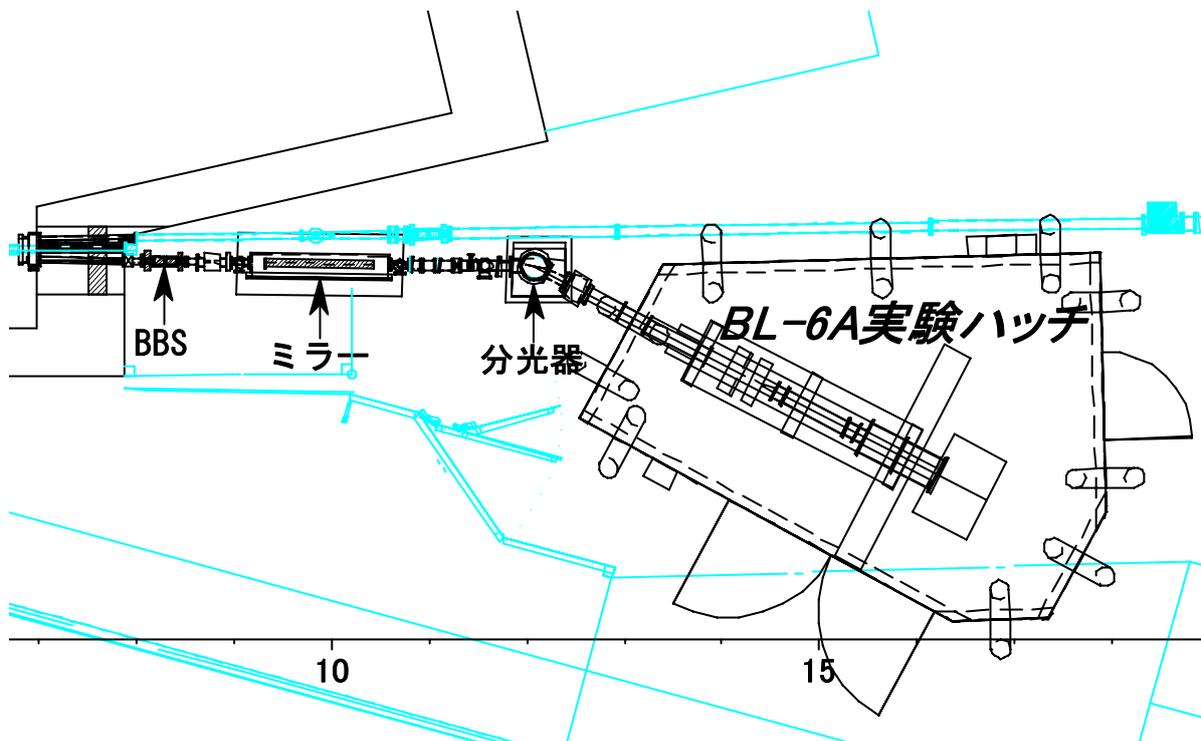


図 1. ビームライン BL-6 平面図 BL-6A を黒線で示す。